

研究課題名「大腿骨頭壊死症に対する手術治療の成績」に関する情報公開

1. 研究の対象

1985年1月1日以降当院で大腿骨頭壊死症に対して手術治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

大腿骨頭壊死症は壊死範囲が大きい場合には早期に圧潰を生じ、股関節の疼痛や機能障害を生じる。大腿骨頭壊死症に対する手術治療は骨切り術や人工股関節置換術等がある。人工股関節置換術は有効な治療法であるが、大腿骨頭壊死症は若年患者に好発することを考慮するとその耐用性に問題がある。そのため若年患者に対しては関節温存のために骨切り術も検討すべきである。しかしながら、大腿骨頭壊死症に対する手術治療の適応について明確な治療指針はない。本研究の目的は、各種手術治療の成績および予後不良因子等を調査し、その適応と限界につき検討することである。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：現病歴、手術時年齢、性別、BMI、壊死の誘因、術前および術後から最終観察時までの股関節所見および画像評価、人工股関節置換術への移行の有無 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65 052-744-2111

名古屋大学院医学系研究科総合医学専攻運動・形態外科学 大倉 俊昭

研究責任者：名古屋大学院医学系研究科下肢関節再建学寄附講座 長谷川 幸治